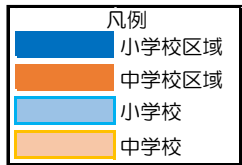


小学生人口(6歳~11歳)と小学校の施設量の将来推計

H27(2015年)2,541人→R22(2040年)予測数1,778人
(△30.0%)



学校教育法施行令・標準学級数
12~18学級の児童生徒数の平均値を想定
※1・2年35人学級、3~6年40人学級
12学級の下限值36人×2学年+41人×4学年=236人
18学級の上限值105人×2学年+120人×4学年=690人
上限値~下限値の平均463人

R22(2040年)の小学校数
 $1,778人 \div 463人 \approx 3.8校 \rightarrow 4校$ で充足

北東
806人→564人
(△30.0%)

南東
498人→349人
(△29.9%)

福生駅西口
再開発地域

北西
421人→294人
(△30.2%)

南西
816人→571人
(△30.0%)

西口再開発に伴う住宅供給の影響度合いは不明だが、北西区域の児童数の減少抑制に作用すると思われる。

施設集約の核となる小学校の施設量は4校程度と見込まれる。

「人口ビジョン・総合戦略」の人口推計と平成27年国勢調査250メートルメッシュの人口分布等から算出した。